

市民の命と安全を守る
みず かみ

札幌市議会民主市民連合
市政通信

水上みか

札幌市議会議員(北区)

Topics

令和6年第一回札幌市議会定例会開会

- ・秋元市長の政治姿勢等を中心に
水上みか市議による代表質問
- ・健康敬老パス制度について詳しく

ご意見・ご要望をお聞かせください!

水上 美華
市政連絡所

札幌市北区北四十条西5丁目5-20
石橋ビル2階8号A室
(地下鉄麻生駅3番出口から徒歩1分)
電話:011-792-8931
FAX:011-792-8932
mail: office@mizukami-mika.jp

発行者/札幌市議会民主市民連合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL 011-211-3212

令和6年第1回札幌市議会定例会代表質問に水上みかが登壇しました

所属会派である民主市民連合を代表し水上みか市議は、秋元市長の政治姿勢等を中心について代表質問を行いました

健康寿命延伸に向けた「敬老健康パス」について

質問: 市民にとって敬老健康パス素案の内容が非常に分かりづらく、どのようなものを目指すのか、各区の意見交換会を経ても十分に伝わっておりません。現行制度の利用者にとっては、唐突感があり、配慮に欠けていると言わざるを得ません。現行制度の利用実態の偏在を是正すべきという本市の説明には、一定の理解を示す意見も見られる一方、長年、交通費助成として利用されてきた市民からは、実態に即した配慮を求める声も多く寄せられています。現行の利用額や自己負担額を見直しつつ、敬老パス制度を維持することも検討すべきではないかと考えるところです。

健康寿命延伸に向けた取組を進めるにあたり、現行の敬老パスを利用する方々に、どのように配慮していこうとしているか、伺います。



札幌市の答弁要旨

市民が健やかに長く活躍できる健康長寿社会の実現が重要、とりわけ高齢者のフレイル予防や認知症予防の観点からも、歩数のみならず社会参加なども含む日常的な活動量の「見える化」で、健康を高めるための自発的な取組につなげていきたいと考えている。一方、制度や利用可能額が大きく変わることへの不安に配慮するとともに、安定的に持続できる仕組みを構築する必要がある。市民意見を踏まえ、新たな制度に円滑に移行していけるよう、既に敬老パスを利用している方への経過的な措置についても検討してまいります。

※フレイル予防とは、要介護状態となるリスクが高くなった状態を「フレイル」といいます。フレイルを予防することは、その先にある要介護状態の予防につながり、健康寿命を延ばします。

再質問: 寄せられた市民意見を踏まえますと、健康寿命延伸の取り組みと敬老パス制度の持続可能なあり方の検討とを、唐突に一緒に検討してしまったことが、市民の混乱を招き、不安を助長してしまったと言わざるを得ません。理解を深めるためにも、敬老パスの持続可能なあり方について、健康寿命延伸に向けた議論と分けて再度検討をするべきではないでしょうか。敬老パスについては市長から、制度や利用可能額が大きく変わることへの不安に配慮するとの答弁がありました。利用者の不安を払拭するような対策を検討いただきたいと考えます。

現行制度である敬老パスの制度を継続して残す検討も必要と考えますが、市長の考えを伺います。

札幌市の答弁要旨

現行制度の選択や継続などを含めた段階的な取り組みを検討していきたい。

水上みか所属の委員会

総務常任委員会・総合交通政策調査特別委員会

水上みか市政相談ダイヤル 050-5362-6797

<http://mizukami-mika.jp>

@mizukami_mika

fb.me/mizukmi.mika

@mizukamimika12

札幌市議会では議会の録画映像を公開しています。
水上みかの市議会での質疑の様子をぜひご覧ください。

札幌市議会 ネット中継

検索



持続可能な除排雪体制について

質問：社会情勢が変化する中で、除排雪の主要な担い手である建設事業者が安定的に事業に携われるよう、今後も適切な予算措置を行うべきと考えますが、いかがか伺います。

札幌市の答弁要旨

アクションプランにおいて、中長期的な建設事業費の見通しを示すとともに、除雪費については、上昇し続ける人件費や燃料費に対する予算措置など、適宜対応してきたところ。持続可能な除排雪体制を維持していくため、事業者の計画的な経営につながるよう、夏冬を通じた安定的な建設事業費の確保に努めるとともに、担い手確保に向けた各種支援策を実施するなど、継続的に取り組んでまいります。

いじめから子どもの命を守るための体制強化について

札幌市の答弁要旨

学級担任等の一部の教員がいじめの問題を抱え込み、学校いじめ対策組織として、子どもが発するSOSを捉えることができていなかったと考えている。今後は、いじめの問題を学校全体で共有し組織的に対応するとともにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家と連携し、子どもの心の変化を確実に捉えることができる重層的な見守り体制を整えていく。また、子どもの悩みや困りについては、札幌市が運営するLINE相談なども含め、学校の内外を問わず、子どもの年齢に合わせて、様々な方法で相談できる環境を整えてまいります。市教委としては、子どもの支援を担当する部局と一体となって、子どもの悩みや困りに寄り添う体制を強化するとともに、札幌市全体として継続的に子どもを見守り、支えていく決意。

切れ目のない子育て支援体制の構築について

札幌市の答弁要旨

妊産婦や子育て家庭の孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境を整えるには、妊娠期から子育て期まで、子どもの成長や家庭環境の変化に応じた切れ目のない支援を行っていくことが重要と認識。母子保健と子育て支援を所管する本庁部門を統合することにより、企画立案の段階からの包括的な支援の検討や、子育て支援に関わる団体との連携強化を図っていきたくと考えている。

困難を抱える妊産婦への支援体制について

札幌市の答弁要旨

妊娠期に身近に相談したり、頼れる相手がない中、不安や孤立感を抱えたまま出産を迎え、子育てにあたって困難を抱えている方がいることは大変危惧しているところ。そこで、民間事業者にも協力いただきながら妊娠期から相談しやすい環境を整えるとともに、道や関係団体とのネットワークづくりを進め、短期さらには中長期的な居場所 生活支援を行っていく考え。官民が連携し切れ目のない体制を整えることで、不安や困難を抱える妊産婦への支援の充実を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めてまいります。



【その他】

- ・全国冬の都市市長会議について
- ・令和6年度当初予算編成における基金活用の考え方について
- ・ウェルネス施策の推進体制について
 - ※ウェルネスとは、従来の健康（ヘルス）と区別する目的で1960年代にアメリカで提唱されたもので、「よりよく生きようとする生活態度」のことを意味します。単に病気がどうかだけで健康を考えるのではなく、よりいきいきとした人生を目指す積極的な生き方を表しています。
- ・デジタル活用による窓口の利便性向上について
 - ※デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは、デジタル技術を用いた変革により、ビジネスや人々の生活を発展させることを指します。
- ・防災対策について
 - 能登半島地震に対する札幌市の支援について / 厳冬期における健康二次被害の防止について / 高齢者施設障がい者施設における災害対策について
- ・市営霊園の持続的な運営について
- ・GXの取組について
 - ※GXとはグリーン・トランスフォーメーションの略。簡単に言うと、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のことです。
- ・新MICE施設について
 - ※MICE（マيس）とは、Meeting（企業会議・研修）、Incentive Travel（報奨・研修旅行）、Convention（政府主催会議・学術会議・業界会議）、ExhibitionまたはEvent（展示会・見本市・イベント）の頭4文字から成る造語で、産官学の各組織が、ビジネスや政治、学問的なテーマのもとで開催する、ビジネスイベントの総称です。